

次の文章は、英国の医学誌『ランセット』二〇一九年一月号に掲載された「肥満、栄養不良、気候変動の地球規模シンデミック・ランセット委員会報告書」について解説したものの一部である。次の文章にある途上国の都市に住む貧困層の問題点を要約しなさい。さらに、日本における肥満の要因と比較した上で、肥満を防ぐために私たちのふだんの日常生活において気をつけるべきことは何か、あなたの考えを述べてください。文字数は要約と併せて八〇〇字程度とします。

この30年間、肥満をなくすことに成功した国はない。これは、食品・飲料産業による強力なロビー活動で、肥満をなくすための政治的な指導力が発揮できなかったことが大きい。さらに、肥満はつねに「自己責任」とされ、政治的な課題としての取り組みを阻害されてきた。(中略)ブラジルの経済学者クラウディオ・フェルナンデスさんの言葉に耳を傾けてみよう。「ブラジルのアマゾン川地域に切り開かれた経済特区は、進出した企業の法人税をとらず、その地域の人々を雇用すれば、雇用補助金が確保できる。そこに、あるトランスナショナルなビバレッジ企業が工場を設置し、法人税を支払うことなく、大量の雇用補助金を確保して、膨大な量の甘味料を製造しているんだ。この甘味料をベースに、清涼飲料水を製造し、この企業の巨大なサプライチェーンを使って、中南米諸国の都市貧困層を狙って、大量に販売する。値段はといえば、彼らが住んでいる町で水を買うよりも、果物をとってきてジュースにするよりも安価だ。結果として、安全な水へのアクセスのない都市貧困層の人々は、毎日、水替わりに清涼飲料水を飲むことになるわけだよ」。

グローバルに展開する食品産業も同様である。塩、砂糖、トランス脂肪酸などの入った過栄養なジャンクフードを、都市貧困層向けに安価かつ大量に販売し、彼らの感覚に訴えるコマースシャルを大量に流して消費に結びつける。

南博・稲場雅紀著『SDGs』(岩波新書 二〇二〇年)より(出題の都合上、一部中略した箇所がある)

(注)

- 1 ロビー活動：団体や個人が、政策決定者に対して、自分たちの意見や利益を反映させるために行う活動のこと
- 2 経済特区：企業が進出しやすいように特別に税金を安くし補助金を給付する地域
- 3 トランスナショナルなビバレッジ企業：国境を越えて事業活動を行う飲料会社
- 4 サプライチェーン：販売網